

令和7年度 第1回 東海村健康づくり計画推進委員会 議事録

【日 時】 令和7年7月3日（木） 午後1時30分～午後3時10分

【場 所】 保健センター 検診ホール1～3

【出席者】 ◎：委員長 ○：副委員長 （順不同，敬称略）

住 民 委 員

◎佐藤 栄子，○河合 視己人，磯前 勇，佐竹 尚子，齋藤 周三，
篠崎 典子，石丸 美代子，佐藤 佳代子，工藤 孝子，平田 文枝，
渡辺 りつ子，江坂 木の实

関係機関委員

鈴木 剛（村立東海病院），吉成 亘弘（東海村社会福祉協議会）

関係課職員

ヴァキリ 幸（地域福祉課），坂本 拓哉（保険課），
武藤 恵美子（子育て支援課），加藤 隆志（農業政策課），
石井 夏実（学校教育課），豊嶋 潤（生涯学習課）

事 務 局

高橋 毅，平野 貴子，金澤 綾香，鳥居 静香，倉田 祐子，中島 愛実，
富永 言栄，佐藤 美里，佐々木 菜津希（記録者）

【欠席者】 関係機関委員

大沢 美由紀（ひたちなか保健所）

関係課職員

齋藤 規子（総合相談支援課）

- 1 開 会 進行 健康増進課 平野補佐
- 2 あいさつ 高橋課長
- 3 自己紹介
- 4 議 題 司会 佐藤（栄）委員長

(1) 第3次東海村健康づくり計画

令和6年度実績及び令和7年度計画（案）

⇒鳥居係長が資料1-1，1-1（追加）に沿って説明。

中間評価について

⇒佐々木が資料1-2，1-3に沿って説明。

【結果】承認

【意見等】第3次東海村健康づくり計画 中間評価について

佐藤委員	健康に関心がある方が多いことは良いことである。 健康づくりに関して，すこやか委員として，今後出来ることや各委員が所属して
------	---

	<p>いる団体等で出来ることを考えていけると良い。</p> <p>前回のすこやか会議では、各委員が所属されている団体等でベジチェックをおろしていこうと話があがっている。</p> <p>すこやかウォーキングの認知度は、策定時から増加しているとのことだが、まだ40%である。委員としては、認知度が増加するように、もうちょっと頑張っていないといけないのかなと感じる。</p>
--	--

(2) 令和7年度新規取り組み

- ① 带状疱疹ワクチンの助成について
⇒金澤係長が資料2-1に沿って説明。
- ② プレコンセプションケア事業について
⇒中島係長が資料2-2に沿って説明。
- ③ 新型インフルエンザ市町村行動計画の改定について
⇒佐藤が資料2-3に沿って説明。

【結果】承認

【意見等】 带状疱疹ワクチンの助成について

佐竹委員	<p>スライドP5の带状疱疹ワクチン接種費用助成において、村内実施医療機関に「東海クリニック」の記載がある。8月31日に閉院予定かと思うが、どのような状況であるか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、閉院予定である。</p> <p>東海クリニックにおいて予防接種は、7月末で受付停止予定。</p> <p>予防接種の種類によって、2回以上接種するものもある。1回目東海クリニックで接種し、2回目以降を他院で接種していただくことも可能である。</p> <p>令和7年度4月から带状疱疹ワクチン接種費用助成を開始し、資料は当初体制のもので提示した。村としては、6月に入り、東海クリニックの閉院を確認した。東海クリニックの閉院については、病院やホームページ等で周知されているが、知人等で話があがった際には、ご周知願いたい。</p>

【意見等】 新型インフルエンザ市町村行動計画の改定について

佐藤委員	<p>具体的には、村としてどのような内容で行動計画を策定していく予定なのか。</p>
事務局	<p>新型インフルエンザの行動計画自体は、既に村において策定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、幅広い感染症に対応できるように改定を予定している。</p> <p>内容としては、感染症発生時の対応や医療提供体制の整備やワクチン接種、平時の準備等を盛り込んだものを想定している。</p>

(3) 令和7年度すこやか委員の活動計画(案)

⇒河合副委員長が資料3に沿って説明。

【結果】承認

4 その他

【意見等】健康づくりに関する取り組み等について

ヴァキリ職員(地域福祉課)	介護予防活動団体等と関わっている。そのような団体等は、健康への意識が高い方も多い。今回のアンケート調査結果を各団体等に周知することで、結果をもとに、より自身の健康に関心を持ち、健康づくりへの意識付けにつながるのではないかと。また、村の事業等にも目を向け、健康イベント等にも積極的に関与してくれるのではないかと。
坂本職員(保険課)	病気の早期発見、病気を未然に防ぐよう保健事業に取り組んでいる。ナッジ理論を取り入れ、タイプ別に合わせた内容で特定健診等の受診勧奨通知を作成している。村内商業施設や図書館、役場、絆等で概ね65歳以上を対象に高齢者の健康チェックを実施している。
武藤職員(子育て支援課)	保育園では、食育の一環として、野菜の栽培やクッキング教室を行っている。給食では、好き嫌いや残食がないよう、園児へ声掛けなどの働きかけをしている。歯科検診を年2回実施している。年齢があがるにつれ、むし歯を有する園児が増えている。年長児には、フッ化物洗口も実施している。
加藤職員(農業政策課)	農業への関心が高まっているように感じる。 今までは、生産者へのアプローチに重きをおいていたが、それだけではなく、消費者へのアプローチも必要だと考え、取り組んでいるところである。 東海村産の新鮮な農産物には、「とうかい育ち」シールを添付し、沢山の方に知ってもらえるよう、シールを集めて応募すると抽選で新鮮な野菜がもらえるキャンペーンやイオンで「とうかい育ち」を購入すると、WAON付与キャンペーン等を実施している。農産物の購入をきっかけに、食への興味関心につなげ、地産地消の推進につなげていきたい。イオンや健康増進課の野菜摂取レベル測定会等で連携を図っている。
石井職員(学校教育課)	栄養教諭等による食に関する指導、給食においては地場産物を活用するため、JA等と連携を図り、取り組んでいる。 70周年記念事業の一つとして、70周年記念給食を展開している。(海苔のパッケージにロゴマークを印字する等。)記念給食提供時は、生涯学習課の協力のもと、村の歴史や特色等について、給食時間に放送している。12月にオーガニックのさつまいもを使用したオーガニック給食を実施予定である。

<p>豊嶋職員（生涯学習課）</p>	<p>TOKAI スポーツフェスタの開催。第2期東海村スポーツ推進計画に基づき、運動や運動の実施率向上や地域とのつながり、にぎわい作りに向け、事業を展開している。地域団体との連携、つながり作りを目的に、昨年度、スポーツ推進委員とすこやか委員とで、意見交換や交流を図ることができ、有意義な時間となった。</p>
<p>鈴木委員（東海病院）</p>	<p>保健予防活動等は、高齢者だけでなく、学生や若い世代にも伝えていけるとより良いと考える。病院は、治療する場との認識が大きいと思うが、予防接種をはじめ、保健予防分野においても携わっているので、ぜひ協力できればと思う。</p>
<p>吉成委員（社会福祉協議会）</p>	<p>健康は全ての基本であり、福祉とも密接に関係するものであると感じる。社会福祉協議会としては、ボランティア活動や地域活動等の支援していく中で、担い手不足、後継者問題等が生じている。村内には、様々な資源があるので、それを知ってもらうことも大切であると感じている。そのひとつとして、6月7日に「絆」ゆいまるまつりを実施。様々な団体を知ることや団体同士でコラボすることで、今後の活動のきっかけにつながっていくと考える。健康づくり計画の中で、すこやか委員は、様々な健康づくり活動をされているので、私たちも一緒に活動していけると活性化していくという点で重要な視点ではないか。今後もコラボや連携等支援していきたい。</p>

5 閉 会